

# 1 主な年齢の平均余命

平成30年簡易生命表によると、男の平均寿命は81.25年、女の平均寿命は87.32年となり前年と比較して男は0.16年、女は0.05年上回っている。平均寿命の男女差は、6.06年で前年より0.11年減少している。また、主な年齢の平均余命をみると、男女とも全年齢で前年を上回っている。（表1、表2）

平均寿命の前年との差を死因別に分解すると、男女とも悪性新生物<腫瘍>、心疾患（高血圧性を除く、以下同じ）、脳血管疾患及び肺炎などの死亡率の変化が平均寿命を延ばす方向に働いている（図1）。

表1 主な年齢の平均余命

(単位：年)

年齢	男			女		
	平成30年	平成29年	前年との差	平成30年	平成29年	前年との差
0歳	81.25	81.09	0.16	87.32	87.26	0.05
5	76.47	76.30	0.16	82.53	82.48	0.05
10	71.49	71.33	0.16	77.56	77.50	0.05
15	66.53	66.37	0.16	72.58	72.52	0.06
20	61.61	61.45	0.16	67.63	67.57	0.07
25	56.74	56.59	0.15	62.70	62.63	0.07
30	51.88	51.73	0.15	57.77	57.70	0.07
35	47.03	46.88	0.15	52.86	52.79	0.07
40	42.20	42.05	0.15	47.97	47.90	0.07
45	37.42	37.28	0.14	43.13	43.06	0.07
50	32.74	32.61	0.13	38.36	38.29	0.07
55	28.21	28.08	0.13	33.66	33.59	0.07
60	23.84	23.72	0.12	29.04	28.97	0.07
65	19.70	19.57	0.13	24.50	24.43	0.07
70	15.84	15.73	0.11	20.10	20.03	0.07
75	12.29	12.18	0.11	15.86	15.79	0.07
80	9.06	8.95	0.12	11.91	11.84	0.08
85	6.35	6.26	0.09	8.44	8.39	0.06
90	4.33	4.25	0.08	5.66	5.61	0.05

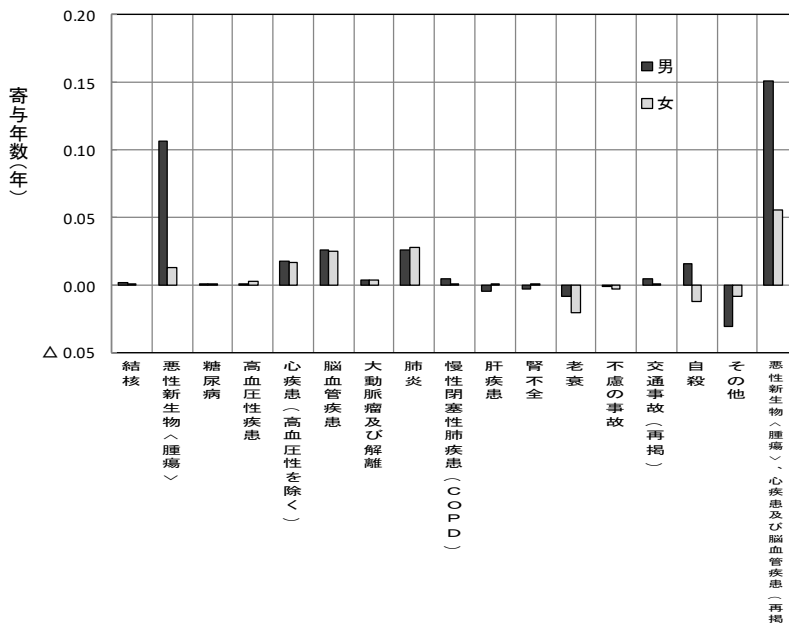
表2 平均寿命の年次推移

(単位：年)

和暦	男	女	男女差
昭和22年	50.06	53.96	3.90
25-27	59.57	62.97	3.40
30	63.60	67.75	4.15
35	65.32	70.19	4.87
40	67.74	72.92	5.18
45	69.31	74.66	5.35
50	71.73	76.89	5.16
55	73.35	78.76	5.41
60	74.78	80.48	5.70
平成2	75.92	81.90	5.98
7	76.38	82.85	6.47
12	77.72	84.60	6.88
17	78.56	85.52	6.96
22	79.55	86.30	6.75
27	80.75	86.99	6.24
28	80.98	87.14	6.16
29	81.09	87.26	6.17
30	81.25	87.32	6.06

注:1)平成27年以前は完全生命表による。  
2)昭和45年以前は、沖縄県を除く値である。

図1 平均寿命の前年との差に対する死因別寄与年数（平成30年）



(寄与年数) (単位：年)

死因	男	女
計(前年との差)	0.16	0.05
結核	0.00	0.00
悪性新生物<腫瘍>	0.11	0.01
糖尿病	0.00	0.00
高血圧性疾患	0.00	0.00
心疾患(高血圧性を除く)	0.02	0.02
脳血管疾患	0.03	0.03
大動脈瘤及び解離	0.00	0.00
肺炎	0.03	0.03
慢性閉塞性肺疾患(COPD)	0.01	0.00
肝疾患	△0.00	0.00
腎不全	△0.00	0.00
老衰	△0.01	△0.02
不慮の事故	△0.00	△0.00
交通事故(再掲)	0.01	0.00
自殺	0.02	△0.01
その他	△0.03	△0.01
悪性新生物<腫瘍>、心疾患及び脳血管疾患(再掲)	0.15	0.06

注：交通事故は、不慮の事故の再掲である。